

留学体験レポート

国際学部 2年 北澤 凌

1. はじめに

私は、8月から12月の約4か月の間アメリカの University of Central Missouri (UCM)に異文化理解や英語力の向上、日本や親元から離れ、新たな環境に身を投じ人として成長をする、ということを目的として留学へ行ってきました。ここでは、私が実際に行ってきた現地で感じたことや体験談を述べていきます。

2. アメリカでの生活のついて

寮の生活は基本的に新潟国際情報大学の生徒同士2人1部屋です。大学に到着し、早い段階であればアメリカ人と部屋を同じにもできるので、希望があれば申請してください。トイレやお風呂は隣の部屋の UCM の生徒と共有することになっており、掃除などもしっかりと話し合っ、綺麗を保つことが大事だと思います。しかし、私の場合はそういったことがなかったので正直いろいろと苦労しました。隣人は約4か月の間、同じ空間をシェアしていくので仲良くしておいたほうがいいです。食事は、寮の近くにある食堂があるのでそこでバイキング形式で食事できます。毎日同じような食事なので、飽きると思います。寮から少し歩いた先にコンビニや大きなスーパー、学校内にスターバックスもあるのでそこに行ってもいいと思います。大学内にはジムがあるのでそこに行けば体が動かさずし、ボールが貸し出しされているのでバスケやフットサルもできます。

3. 授業について

授業は最初に行われるテストを受けたのちにクラス分けされます。各クラスには日本人以外にも韓国やサウジアラビアから来ている留学生もいるので授業の中でコミュニケーションを取り、交流を図ることができます。授業の内容としてはリスニングやライティング、スピーキング、リーディングの力を伸ばすための授業が中心です。授業の一環として、大学外に出てショッピングやゴルフに行ったりボーリングしたりとアクティビティを通じての交流もあります。

4. 楽しかったこと

一番楽しかったのは11月後半にある Thanksgiving Day です。1週間ほどの休みで学校全体が休みになるのでそれを利用して遠くに旅行に行くことができます。飛行機やホテルは自分たちで手続きをするので不安もありますが、UCM の先生たちも助けてくれるので心配はいりません。私は、友達と一緒にニューヨークに行きたくさんの店で服を買ったり、キラキラしている街中を歩いたりニューヨークを堪能できたことが一番の思い出です。世界から見ても有数のとても大きな都市に行けたので、いい経験ができました。ニューヨークではCDを売りつけてくる人や、自由の女神やキャラクターのコスプレをした人たちがおり、一緒に写真を撮るとお金を請求してくる人がいました。そう

いった危ないものを何回か目にしました。日本にはないものが見ることができて新鮮でしたが、同時に海外の怖さも知りました。

5. おわりに

今回の留学を通じて、日本にいるときではすることができなかった経験をし、偏見や先入観、物事に対する考え方など多くのことを学ぶことができました。今回のこの機会を得ることができたのは、両親や先生方のおかげです。多くの人への感謝の気持ちを忘れず、勉強によりいっそう力を入れ、アメリカで得たことをこれから先、学校生活や日常、就職にも生かしていきたいと思います。